

群馬県における平成 22 年度ツキノワグマ出没状況について

県自然環境課 中山寛之
自然史博物館 姉崎智子

1. はじめに

群馬県におけるツキノワグマの生息数は、推定 600 頭と推定され(自然環境研究センター, 1999)、その生息域は中山間部～山間部を中心に広範囲におよんでいる(図 1)。近年では、里山の放置によってツキノワグマの生息域が人里周辺にまで広がっていると考えられ(長野県環境保全研究所, 2006)、農作物被害や人身事故など人との軋轢の増加が懸念されている。

群馬県では、ツキノワグマの適正な保全と農林業被害の軽減と人身被害の防止を図ることを目的に 2000 年に「群馬県ツキノワグマ保護管理計画」を策定し、2006 年度に第 II 期計画を策定している。

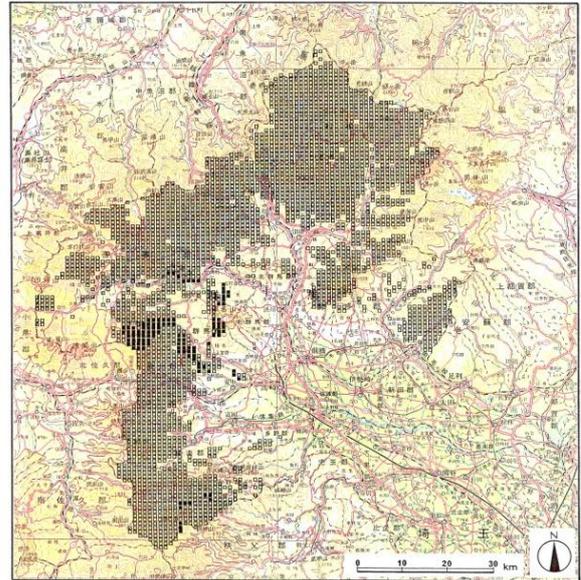


図 1 ツキノワグマの分布域(自然環境研究センター, 1999)

2. ツキノワグマの出没状況

ツキノワグマの大量出没は、2004 年に中国地方から北陸地方、2006 年に中部地方から東北地方を中心に起きている(米田, 2007、岸本, 2011)。群馬県でも、2006 年に大量出没が起き、2007～2009 年は減少したが、2010 年には再び出没が増加した。

平成 22 年度が目撃件数は 9 月が最も多く、10 月に若干目撃件数は減少したが、11 月に再び増加した(図 2)。民家近くの果樹園や畑に出没し、学校や通学路付近でも目撃され、県道ではクマ

(目撃件数)

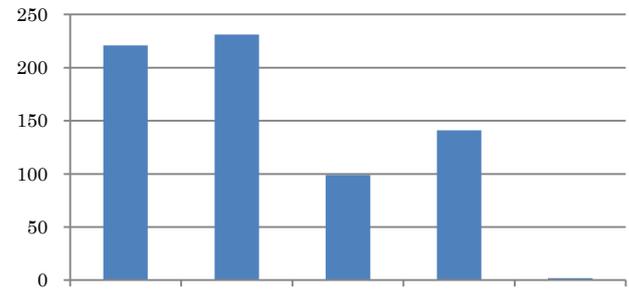


図 2 平成 22 年度ツキノワグマ目撃件数の推移(4 月～8 月は一括データのみ)

と車が衝突する交通事故なども発生した。

県鳥獣保護員のパトロール報告によると(図 3)、クマの出没が標高の低い地域へと拡大していることが伺える。また、河川沿いでの目撃も多く、山林から離れた住宅地での目撃報告もあった。この傾向は、山梨県、長野県でも報告されており(長野県, 2002; 環境省自然環境局生物多様性センター, 2004 など)、このことが農作物被害や人身被害が増える要因の一つになっていると考えられる(岸本, 2011)。



図 3 平成 22 年度ツキノワグマの出没状況(●:クマ情報有。鳥獣保護員報告などをもとに作成)

3. ツキノワグマの出没と人身事故

人身事故発生件数の経年変化をみると、記録のある1997年以降、2005年度までは1~2件で推移したが、大量出没のあった2006年は、事故件数が7件と多かった。その後、2007~2009年は、1~4件であったが、2010年には事故件数が9件と急増した(表1)。

内訳をみると、山菜採り、キノコ採り時での発生が多く認められるが、2010年においては、登山中、山林作業中時における事故の発生が多く、また、事故9件の内、親子グマが関与したものが5件あった。

4. ツキノワグマの捕獲状況

群馬県では年度間のクマ捕獲上限数を95頭(越後・三國地域個体群:90頭、関東山地地域個体群:5頭)と設定しているが、計画策定後のすべての年度において捕獲上限数を上回って捕獲されているため、保護管理計画の継続が必要とされている(自然環境研究センター, 2006)。

1970年以降の有害捕獲頭数をみると、1999年までは6~7年の間隔で捕獲頭数が100頭を超える年(1970、1977、1983、1989、1992)があるが、1999年以降は3~4年間間隔(1999、2003、2006、2010)となり、2006年には333頭、2010年には247頭が捕獲された。

平成22年度の月別捕獲数は、8月~9月にピークがみられた(図5)。この時期にはトウモロコシやコメ、プラム、ブドウなどの農作物が実り、クマが人里に誘引されるため、捕獲が多くなると考えられる。

5. まとめ

里山の放置や耕作放棄地の増加などにとともに、近年、人里に近い環境でクマが生息するようになってきている。今後、集落住宅地などへの大量出没を防ぐ方策(生息環境の改善、里山整備など)とともに、クマに対して適切な理解を持つよう普及啓発にも努めて行くことが重要である。

表1 群馬県内(尾瀬ヶ原を含む)で発生したツキノワグマによる人身事故

発生日	発生場所	場所詳細	年齢	性別	被害者情報			クマ情報	文献掲載	
					行動	備考	被害			
1997	-	-	-	-	キノコ採り中	-	-	-	-	
1998	-	-	-	-	下草刈り中	-	-	-	-	
1999	-	嬭恋村	-	-	山林作業中	-	-	-	-	
1999	6.6	尾瀬ヶ原(新潟県側)	湯之谷村	50代	男女	ハイキング中	夫婦	-	1頭	橋本2011
2000	8.12	中之条町	岩本	-	-	散歩中	-	軽傷	-	橋本2011
2000	11.29	中之条町	四万	-	男性?	狩猟中	-	軽傷	-	橋本2011
2001	5.22	片品村	東小川	-	男性?	有害駆除中	-	重傷	-	橋本2011
2001	8.12	勢多郡東村	花輪	-	-	溪流釣り中	-	重傷	-	橋本2011
2002	4.30	嬭恋村	-	-	-	山菜採り	-	重傷	-	橋本2011
2003	4.30	六合村	-	-	-	山菜採り	2名	重軽傷	-	橋本2011
2004	7.21	桐生市	-	-	-	腐葉土採取中	-	重傷	-	橋本2011
2004	6.5	尾瀬ヶ原(新潟県側)	湯之谷村	成人	-	ハイキング中	2名	1名:骨折	1頭	橋本2011
2005	5.4	月夜野町	-	-	-	山菜採り	-	軽傷	-	橋本2011
2006	8.5	みなかみ町	藤原	70代	女性	散歩中	-	軽傷	親子	橋本2011
2006	8.25	中之条町	蟻川	-	男性	ほ場で草刈り中	単独	重傷	-	橋本2011
2006	9.7	六合村	日陰	-	女性	マタビ採りの帰り	単独	軽傷	-	橋本2011
2006	9.17	嬭恋村	干俣	-	男性	溪流釣り中	-	軽傷	-	橋本2011
2006	9.30	川場村	天神	50代	男性	キノコ採り中	単独	重傷	-	橋本2011
2006	10.16	沼田市	佐山町	-	-	山林を巡回中	-	-	-	橋本2011
2006	10.16	沼田市	秋塚町	50代	男性	リンゴ園で作業中	単独	重傷	-	橋本2011
2007	5.27	嬭恋村	田代	-	男性	山菜採り	2名	軽傷	-	橋本2011
2007	6.2	嬭恋村	田代	-	男性	林内(登山)	-	-	-	橋本2011
2007	7.22	中之条町	四万	30代	女性	散歩中	2名	1名:重傷 1名:軽傷	親子 3頭	橋本2011
2007	12.2	南牧村	六車	40代	男性	狩猟中	単独	重傷	-	橋本2011
2008	10.16	みなかみ町	下津	-	女性	散歩中	単独?	軽傷	-	橋本2011
2009	6.18	みなかみ町	藤原	30代	男性	藤原ダム付近ランニング中	2名	軽傷	-	橋本2011
2009	6.20	みなかみ町	栗沢	50代	男性	山林作業中	2名	重傷	2頭	橋本2011
2010	7.14	みどり市	沢入	70代	男性	キノコ採り中	単独	重傷	-	橋本2011
2010	7.28	沼田市	利根町	60代	男性	山林作業中	単独	重傷	親子	橋本2011
2010	8.29	桐生市	黒保根町	40代	男性	山林の市道を歩行中	単独	-	親子	橋本2011
2010	9.1	前橋市	富士見町	60代	男性	登山中	単独	軽傷	親子	橋本2011
2010	9.5	安中市	松井田町	60代	男性	登山中	単独	重傷	親子	橋本2011
2010	9.6	中之条町	四万	70代	男性	-	単独	重傷	-	橋本2011
2010	10.12	みなかみ町	上牧	-	男性	キノコ採り中	単独	軽傷	-	橋本2011
2010	10.17	草津町	白根山	60代	男性	散歩中	単独	重傷?	親子	橋本2011
2010	10.20	昭和村	糸井	60代	男性	竹林作業中	単独	重傷	-	橋本2011

(頭数)

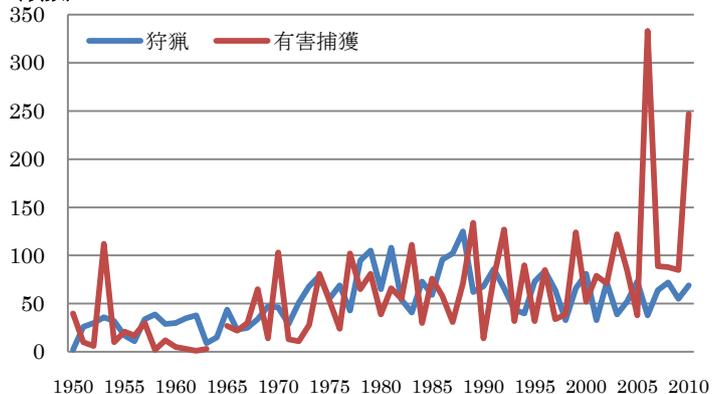


図4 群馬県におけるツキノワグマ捕獲頭数の推移

(頭数)

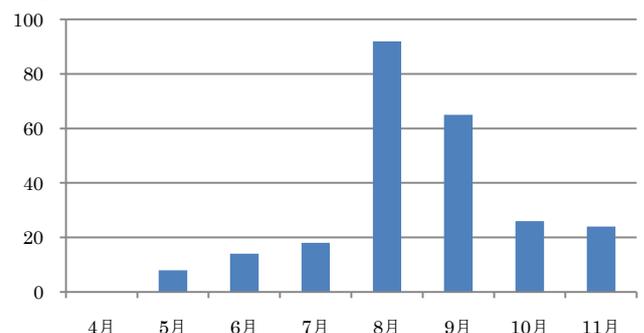


図5 平成22年度ツキノワグマ月別捕獲数